

まじゅん



沖縄県商工会連合会 会報誌

3²⁰¹⁶月号
No277



『平成27年度販路開拓支援プロジェクト』

地域力活用型販路拡大応援事業

首都圏大規模商談会へ初出展!!



contents

- 02 ● 平成27年度販路開拓支援プロジェクト
- 03 ● 平成27年度経営力向上支援事業報告会
小規模持続化補助金採択者の声
- 04 ● 地域ビジネス力育成強化事業
- 05 ● 青年部・女性部だより・春闘への要請 (連合沖縄)
- 06 ● 経営革新物語



平成27年度販路開拓支援プロジェクト

〔平成27年度地域力活用型販路拡大応援事業〕

首都圏大規模商談会へ初出展!!

〜次のステージ(大人)に向けたOKINAWA〜

『OTONAWA OKINAWA』



沖縄県商工会連合会では、平成27年度販路開拓支援プロジェクトとして、沖縄県の補助を受け「平成27年度地域力活用型販路拡大応援事業」を実施しており、その一環として、2月に首都圏で開催された2つの大規模商談会（「デリカテッセントレードショー」、「rooms32」）へ、沖縄県商工会連合会ブースを初出展した。出展に際しては、参加事業者への事前セミナーの実施や、共通コンセプトのもと統一された空間デザイン、什器、装飾、陳列方法等でブース全体を演出する新たな取組により、来場する全国のバイヤー等へ、これまでにない新しいOKINAWAを提案した。

デリカテッセン トレードショー

2月10日(水)〜12日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された食品関連の展示商談会「デリカテッセントレードショー(スーパーマーケットトレードショー)」では、県内商工会から食品関連商品の製造や販売を行う会員事業者13社20名、担当経営指導員7名が参加し、沖縄県連ブースでの出展、商談を行った。

当日は、首都圏を中心とする食品関連のバイヤー10万人余が来場する中、県連ブースへ訪れたバイヤーからは、周辺ブースの大手有名メーカーの中に

あっても、目を引く演出で、入りやすく気軽に商談しやすい空間だとの声も聞かれ、各事業者には多くの商談が寄せられるなど、大盛況となった。

参加事業者からも、物産展とは違った展示手法や、それぞれの商品を引き立てる装飾の工夫、バイヤーからの意見など、大変参考になったとの声も聞かれた。



rooms32

2月17日(水)〜19日(金)の3日間、東京都の国立代々木競技場第一体育館で開催された、非食品関連を中心とする展示商談会「rooms32」では、県内商工会から非食品関連商品の製造や販売を行う会員事業者12社18名、担当経営指導員9名が参加し、沖縄県連ブースでの出展、商談を行った。

当日は、首都圏の百貨店や服飾、工芸、雑貨などの業界関係者やバイヤー等2万人余が来場する中、県連ブースを訪れる方々との商談が積極的に行われ、各出展者は自社商品のPRに努めていた。

今回、初めて大規模展示商談会へ出展した事業者も多く、大変参考になったとの声や、今後の非食品関連商品への販路拡大支援に期待する声も聞かれた。



●CO₂排出権のもうけ話にはご用心! 「特商法違反業者への指示処分」について

CO₂排出権取引受託取次業務の訪問販売に対する違反行為の是正につきまして沖縄総合事務局からのお知らせを掲載しております。くわしくは県連HPをご覧ください。

平成27年度 経営力向上支援事業報告会を開催

沖縄県商工会連合会経営力向上支援事業支援室は、3月1日(火)午後1時から平成27年度経営力向上支援事業報告会を開催し、スーパードバイザーのOJTを受講した経営指導員18人からの発表があった。

計画的OJT報告の部門は就任1年未満の6人の報告があり他事業進出によるマーケティング支援等レベルの高い事例の発表があった。

就任5年以上の経営指導員が自主参加して研鑽を重ねたスキルアップ研修は、チームリーダーを務めた「名嘉眞隆」経営指導員、金城和也「経営指導員が研修成果と提言の報告があった。本部門には研修先の「キングブー」代表社員・國場盛光氏、「株式会社共栄環境」代表取締役・下田美智代氏も参加し、「目標とすべき数字やその達成法が具体的に示され取り組む課題が明確になった。」と両社長からコメントがあった。

OJT研修受講による成果では、小規模事業者持続化補助金の経営計画作成支援の伴走型支援の事例報告があった。中でも恩納村商工会は小規模事業者持続化補助金の伴走型支援事例報告会を自主開催している報告もあった。

課題別では、就任1年以上5年未満の経営指導員4名が発表し、台風被害による迅速な事業者支援や事業再生に向けた経営改善計画策定など難易度の高い支援事例が報告された。最後に親川局長から講評と支援課長から次年度展開する本会の諸事業の概略の説明があり閉会した。



OJTの成果報告を発表する小暮亮経営指導員



スキルアップ研修成果を報告する
名嘉眞隆経営指導員

小規模事業者持続化補助金採択者の声

天体望遠鏡「星空教室」による販路開拓

企業概要

事業所名:ペンション遊民

所在地:恩納村

宇山田3280-1

代表者:又吉朝英

相談の経緯

当該企業は、西海岸の県道7号線沿いに位置し、眺望の素晴らしいさやおもてなしで人気のペンションである。しかし、繁忙期と閑散期の利用客数の差が大きく、オフシーズンの集客が課題であった。リゾートホテルやペンション等がひしめくエリアにあり、他との差別化を模索していた折、天体望遠鏡設置による星空教室を展開したい旨の相談を受けた。

商工会の支援内容

かつて知人客が宿泊の際に持ち込んだ天体望遠鏡が他のお客様に大変好評であり、新事業を始める下地が整っていた。持続化補助金の活用を提案し、自社の状況把握、事業計画書の書

き方をサポートした。また採択後は、消費者目線での広告の仕方について助言を行った。

(支援担当:経営指導員 上原善彦)

事業者の声

天体望遠鏡の設置、「星空教室」これでもあなたも天体博士!と題した看板設置や新聞広告を掲載した。広告を目にされたお客様からの問合せや予約が入るようになり、事業の効果が現れてきている。途中、事業の中止が頭をよぎることもあったが、指導員の支援で成し遂げることができた。新サービスを通して、お客様の心に残る思い出づくりに繋げていきたい。



新サービスである「星空教室」をPRする看板



恩納村商工会の販路開拓報告会で発表する又吉代表

平成27年度地域ビジネス力強化支援事業
採択された6件のプロジェクトの中から「南城市」・「うるま市」の紹介

南城市スタイルのモニターツアー

テーマ「ロハスの暮らしと観光の共生」はじまりの場所、
癒される場所神話が感謝と信仰を生む物語

本モニターツアーを3回実施して40名の参加があった。自己の原点回帰で気づきを得るメニューを開発、現代社会のため込んだストレスを開放する南城市スタイル着地型観光に期待!!



自分探しの旅(さちばるの庭)



感謝(斎場御嶽)



大声で目標宣言(知念岬公園)



原点回帰(ヤハラヅカサ)

うるまDMOによる闘牛文化活性化プロジェクト

うるま市商工会では、平成27年度地域ビジネス力育成強事業を活用して「うるまDMOによる闘牛文化活性化プロジェクト」に取り組んでいる。うるま市には豊富な観光資源が多くありその中から、全国でも数少ない県下随一を誇る「闘牛文化」を軸としたストーリー性のある観光商品を開発するため、闘牛文化体験モニタープログラムの実施やセルフドライブで訪れる観光客向けの闘牛マップの製作・闘牛弁当・闘牛ランチ・闘牛饅頭の開発を行った。今後は「闘牛の街『うるま』」として標榜できるような観光商品を開発し、市内を周遊して楽しめる観光プログラムと消費拡大を行っていく。



闘牛饅頭



闘牛ランチ



闘牛弁当



闘牛散歩

平成27年度地域ビジネス力強化支援事業
戦略的経営管理普及促進支援

フォローアップセミナー開催

平成28年3月6日(日)沖縄産業支援センターにて採択事業者向けのフォローアップセミナーを開催した。

これは事業者、担当経営指導員が、この一年間で学び、取り組んできた「管理会計」の手法を継続して事業所に定着させる目的で開催した総括講習である。

株式会社プロ機材ドットコムの森下社長を講師に招聘し、「商品を魅力的に見せるワザを教えます」〜スマホでできるプロ仕様の写真撮影〜と題した特別セミナーと中小企業診断士の竹内成人氏による、会社の未来を創る「経営PDCA」と題した経営セミナーの2部構成で行った。

第一部では、スマホの設定と撮影小道具の使用で見違えるほど魅力的な商品として「魅せる技を学習し、第二部では決算書の読み方や、月次会計の実施と継続により経営を安定・成長へ導く「経営PDCA」の重要性を反復学習した。

本セミナーには、北は東村から南は竹富町西表島に至る広域から多くの方々が参加され、休日返上で受講される姿は県内小規模事業者の方々の経営改善意識や向上心の高さを表すものであると同時に、戦略的経営管理技法に対するニーズの多さを感ずるものであった。



撮影の機材



講師の森下社長



普通に撮影した写真と機材を使った写真



セミナーの様子

●商工会青年部・女性部 新人部員募集中

事業家として自らを見つめ直し、部員としての誇りと自信を持って、地域に根差した活動の展開で更に事業所の発展を目指しませんか。



九州商工会青年部親睦ソフトボール大会

2月6日(土)西原マリパーク多目的広場にて開催した。

筑紫野市(福岡県)、菊池市(熊本県)、白石市(佐賀県)、嘉手納町、大宜味村(沖縄県)の5チームによるトーナメント制で行ない、【優勝】筑紫野市、【準優勝】白石町、【3位】菊池市の結果となった。交流会では、部員相互の親睦を図り、九州は「ひとつ」と団結を強くした。



参加者で集合写真

第20回商工会青年部親睦ゴルフ大会

2月26日(金)久志岳ゴルフガーデン(名護市)にて開催した。名護市商工会青年部の進行により、プレイから懇親会までスムーズに行われた。【団体優勝】うるま市、【2位】名護市、【3位】宜野湾市、【個人優勝】比嘉一人(中城村)、【2位】島袋敬司(うるま市)、【3位】渡口昭彦(嘉手納町)の結果となった。懇親会では、部員相互の親睦を図ることが出来た。



参加者で集合写真



商工会女性部指導者研修会及び主張発表大会を開催

平成28年2月12日(金)残波岬ロイヤルホテルにて開催した。

各支部代表の3名が発表し、最優秀賞(県知事賞)に南部・先島支部代表の国吉佳奈子さん(渡嘉敷村商工会女性部)が輝いた。テーマ『女性部活動と地域振興・まちづくり』サブテーマ『小さな島のものづくり・ひとづくり』と題し、製造業が少ない島で土産品をつくり、女性同士のゆんたくパワーを活かし助け合いながら、島で取れる古代米「紫黒米(しこくまい)」を使ったみそづくりに取り組んだ成果を熱く語った。

国吉さんは県代表として、7月に福岡県で開催される九州大会へ派遣が決まった。北部支部代表の名嘉好子さん(伊是名村商工会)、中部支部代表の安里瑞枝さん(中城村商工会)には優秀賞が贈られた。

また、主張発表終了後には『大阪のおばちゃんが元気を運びませ』をテーマに、(有)みかん山プロダクション代表辻イト子氏を講師に迎え講演会を行った。

ユーモアを交えながら、さまざまな課題を乗り越えながら女性経営者が前向きに生きる大切さを講演いただいた。参加者から、今後の活動に役立つ充実した研修会であったとの意見が多くあった。



講師の辻イト子氏



皆でカチャーシー



余興を披露する女性部の皆さん



発表者の皆さん

「春闘要請」を受理(連合沖縄大城会長らが来所)

3月3日、連合沖縄の大城紀夫会長以下5名が連合会を訪ね、川満光行専務理事に春闘の要請を行った。連合沖縄から要請書が提出され、以下のような要請がなされた。

- ①月例賃金の引き上げ ②法定最低賃金の引き上げ
- ③労働条件の向上とワーク・ライフ・バランスの実現 ④雇用環境の改善

これらの要請を受け、川満専務理事から地方創生の観点から人材育成の必要性と労働生産性の向上が必要と意見を述べ、経済界として可能な限り要請に応えることを確認した。



連合沖縄大城会長から要請書を受け取る川満専務理事

友利かつお加工場経営革新物語 monogatari

宮古島市伊良部商工会

経営力向上支援室
スーパーバイザー

先島地域分室

當銘 啓啓

「伊良部大橋と伊良部島の伝統食材「なまり節」」

友利かつお加工場代表の友利真海氏の祖父と父親が、休業するかつお加工場を受継ぐ形で創業したのが平成元年。平成12年に友利氏が事業を引継ぎましたが、島の人口減少や高齢化に影響され売上高も年々減少し、平成26年にはピーク時の半分以下に落ち込む。

友利氏は商工会青年部活動に積極的に参加、県内外の仲間達に刺激を受け、経営革新に取組む重要性を認識する。平成26年度に地域内資金循環事業での先進地視察や、小規模事業者持続化補助金申請に伴う経営計画作成により、伊良部大橋開通後のビジネスチャンスを見逃すまいと準備を開始。具体的には、自社商品を原料とした新たな加工品の開発、それらの商品を直接販売するための直売店設置を計画する。

平成27年1月30日に伊良部大橋が開通し、観光客が増加するなか、新たな取組みは実を結び始め、原料である「なまり節」の販売も順調に伸び、前年と比較して売上高は倍増する勢いだっただけです。その頃から経営革新計画承認に向けた計画作成に着手したが、製造から販売まで一人で担っ

ていたため、色々な苦労があったようです。現在は製造担当の従業員も雇用し、新たな集客のために佐良浜地域におけるイベントへの参画のほか、自社工場の見学を漁協が実施する「やーがまくーがま(まち歩きツアー)」へ組み込むなど、多様化する観光客のニーズに対応している。

また、仲間経営指導員においては、「小規模事業者全国展開支援事業」による調査研究事業や通常の経営改善普及事業の合同を縫って支援し、伊良部島の経営革新計画承認事例となった。今後も伊良部島から経営革新計画の承認を期待したい。



友利代表と仲間指導員



店内の様子

産業支援資金

かいぎん

トリプル旋風

県内の産業〈観光・健康・環境〉を力強くサポート!

無担保の場合 **最高 1,000万円**まで

担保付の場合 **最高 3,000万円**まで

沖縄の「トリプルK(観光・健康・環境)」事業に必要な資金を積極的にサポートします!!

創業・新事業の方もご相談下さい。

環境
関連資金

観光
関連資金

健康
関連資金

商品概要

ご利用いただける方	県内に事業を営む法人・個人事業者の方
お使いみち	<p>観光 トリプルK(観光・健康・環境)関連産業に必要な事業資金。 (主な3関連産業) 観光関連施設(民泊事業など)、レンタカー、ガソリンスタンド、パークینگ、マリッジジャー、お土産店、沖縄の観光、観光客が利用する飲食関連(コンビニ・スーパー・食室・レストランなど)、その他観光関連事業に必要な資金</p> <p>健康 健康食品・健康機器製造販売、医薬品・化粧品製造販売、健康食品・健康機器販売、介護関連事業(デイサービス・介護老人施設など)、医療関連事業(一般的な診療病院・はり・マンサージ・歯科)、スポーツ関連施設、その他健康関連事業に必要な資金</p> <p>環境 新エネルギー関連(太陽光・バイオマス・風力・地熱・水力)、リサイクルビジネス(容器包装・家電・食品・建設など)、省工本設備(空調機器・換気・電源・照明・冷蔵・冷凍設備、断熱材)、環境対策設備(廃棄物の排出抑制・再生利用にかかる浄化・廃熱利用・節水設備など)、その他環境関連事業に必要な資金</p>
ご融資金額	<p>無担保 50万円以上 1,000万円以内</p> <p>有担保 100万円以上 3,000万円以内</p>
ご融資期間	<p>無担保 運転5年以内(据置3ヶ月)、設備7年以内(据置6ヶ月)</p> <p>有担保 運転10年以内、設備20年以内(据置12ヶ月)</p> <p><small>*但し、設備の場合は投資対象物件の法定耐用年数の範囲内とします。</small></p>
ご融資利率	<p>当行所定の利率(変動金利)</p> <p><small>*詳しくは窓口までお問い合わせください</small></p>
ご融資形式	証書貸付
ご返済方法	元金均等月賦返済、元利均等月賦返済
保証人	<p>法人の場合 代表者または実質的な経営権を有する方(会長、相談役等)</p> <p>個人事業者 原則不要</p>
ご相談に必要な書類	<p>法人の場合 決算書類一式(2期分か1期分) 代表者の運転免許証またはパスポート等</p> <p>個人事業者 確定申告書(2期分か1期分) ご本人の運転免許証またはパスポート等</p> <p><small>*その他の資料をご用意いただく場合がございますのであらかじめご了承ください。</small></p>

◆ネーミングの由来 3産業が沖縄のリーディング産業として県内外に旋風(つむじ風)を起すようにという願いをこめて

詳しくは海邦銀行窓口または営業担当者へお申出ください。
*お申込にあたっては当行所定の審査をさせていただきます。ご希望に沿いかねる場合もございますので、予めご了承ください。

KaIHO 海邦銀行
http://www.kaicho-bank.co.jp/

●加入してよかった福祉共済。
大切な商工会会員の皆様だからこそ加入できる特別な制度です!

中小企業事業主の皆様!

沖縄の がんばる中小企業を 応援します。

中小機構沖縄は、サトウキビ、びんがた、琉球王国のグスクなど、沖縄固有の地域資源等を活用してビジネスに取り組まれる中小企業の皆様を、事業計画づくりの段階から販路開拓まで一貫して支援しています。まずはお気軽にご相談下さい。

国の認定制度

農商工連携

農林漁業者と商工業者が連携した新商品開発・生産・販売を支援します。

地域資源活用

地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・生産・販売を支援します。

新連携

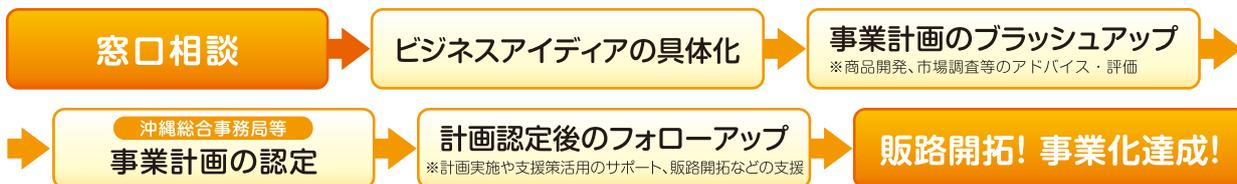
企画・製造・販売など異分野の中小企業が強みを活かした新たな事業分野の開拓を支援します。



沖縄県内でも多くの中小企業が支援制度を有効活用しています。

加工食品・工芸品・化粧品などの製造業から、リゾートウエディング・観光ツアーなどの観光サービスまで、多種多様な中小企業の皆様が新たな事業展開へのサポートを受けています。

中小機構による支援内容



地域資源活用事例一覧「沖縄プロデュース」を提供します。▶

中小機構沖縄

検索

中小企業の方が、気軽に経営相談を受ける事ができる電話相談を開設しています。

がんばる中小企業経営ホットライン TEL/0570-009111

《受付時間/月~金 9:00~17:00》

中小企業向けお役立ち・最新情報 中小企業ビジネス支援サイト

J-Net21 <http://j-net21.smrj.go.jp>



中小企業と地域振興を
もっとサポート

中小機構 沖縄

独立行政法人中小企業基盤整備機構 沖縄事務所
〒901-0152 那覇市小祿1831-1 沖縄産業支援センター 313-1
TEL/098-859-7566 FAX/098-859-5770
<http://www.smrj.go.jp/okinawa/index.html>

小規模企業の
経営者の
みなさまへ

小規模企業
共済制度

経営者ご自身の 「現役引退後の生活資金」のことを お考えですか？

こんな悩みにお応えします

「年金だけでは不十分で、不安がある」
「自分で積み増しするには、どんな
ものがあるの？」

小規模企業共済は、「小規模企業経営者の
ための退職金制度」です。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします。



加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

将来、「廃業」「役員退任」等が生じた
ときに共済金を受け取れます。

現役引退後の安心した
生活設計が図れます。



ポイント

1. 常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業5名以下)の個人事業主、個人事業主の共同経営者、又は会社の役員の方が対象です。
2. 毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば、課税対象所得400万円の方ならば約11万円の節税になります。
3. 「小規模企業共済法」に基づき運営されています。



すでに本制度に加入されている方は…

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に
設定できます。(500円きざみ)

●本制度の詳細内容は、パンフレットを必ずご覧ください。

▶現在の掛金月額が7万円に達してい
ない方は、増額をお勧めいたします。

※掛金月額増額申込書がお手元に無い場合は、下記の共済相談室へ
ご請求ください。

共済制度の運営機関



中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人

中小企業基盤整備機構

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室

TEL 050-5541-7171

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

小規模企業共済

検索